

「地域コミュニティ(コミプラ形成地域)のモデル的な取組創出」事業実施報告

ICT(情報通信技術)を活用した地域コミュニティの課題解決と活性化
ー地域住民の参加・参画システムの導入および安心安全システムの導入ー

実施主体

【市町村】始良市(企画部地域政策課)
【団体】フルハークウィル株式会社



青少年育成部会 なぎさ未来塾・ひまわりハウス わいわい食堂

行事名	なぎさ未来塾・ひまわりハウスわいわい食堂	イベント規模(参加者人数予測)
主催	青少年育成部会	60
関連団体	NPO法人かごしま、コミ協会長、コミ協女子部会、コミ協健康福祉部会、コミ協支援員	
場所	松原地区公民館	始良市松原町1丁目16番地2
イベント期間	2023/4/1 ~ 2024/3/30	

仕事内容

- ①年間日程「3月中」
- ②講師年間日程「3月中」
- ③開催案内作成と配布「月1回/小学校・回覧・民生員」
- ④開催案内と食堂メニューLINE配信「開催日の数日前」
- ⑤食材購入「前日まで」
- ⑥会場準備「当日」
- ⑦料理準備「当日」
- ⑧写真撮影「当日」
- ⑨後片付け「当日」



背景

近年、住民のニーズが複雑化・多様化する中で、地域コミュニティ情報の不足による活動への参画者の減少、また課題解決に向けた活動の担い手の不足が深刻化している。このような状況の中、活動への参画者の増加、また参画者の増加による担い手の負担軽減を図るため、新たな技術を活用した地域コミュニティ情報の積極的な発信、また共有化を図ることが求められている。

地域課題

- ①地域住民のニーズが複雑化・多様化する中で、地域コミュニティ情報の共有化が求められているが、現状として、情報伝達の手段が不足している。
- ②地域住民が顔を合わせる場としての地域行事や活動への参加・参画者の減少と共に、地域課題解決に向けた活動の担い手の不足が深刻化している。
- ③スマートフォン等のICTを活用した情報伝達のノウハウが不足し、地域組織のデジタル化に対する対応が遅れている。

事業のねらい

不足する地域コミュニティ情報に対し、ICTを活用することにより、情報の共有化を図るとともに、役員へ集中する業務等の可視化を行い、できることをできる人が担う仕組みを構築し、役員の負担軽減を図るとともに担い手の育成にも繋げていく。

事業概要

【コミュニティ活動を維持する役員の負担軽減】

○地域コミュニティ協議会における地域行事や活動をそれぞれ項目ごとに詳細に記録し、まとめたものを役員全体でワークショップを行い、確認作業(活動の可視化と共有化)を行う。

○各役員ごとに担当する行事や活動をまとめたものをファイル化し、引継ぎ資料および活動記録資料として活用できるフォーマットを作成する。

○これらのデータをまとめたものを携帯端末で確認できるようにする。具体的には、それぞれの役員毎に仕事内容を確認できる機能、行事の日時を確認できるカレンダー機能、活動場所を確認できるマップ機能を実装する。また、これらの情報を広く住民に公開できるようなシステムを構築する。

○役員の携帯端末使用に関する操作・入力サポートを行う。

○地域の危険個所等にWEBカメラを設置し、子どもや高齢者への見守りを行うためのシステムを開発し、試験運用を行う。

成果

コミュニティ協議会の会長及び支援員を中心に行われてきた活動の準備や連絡調整、進行等について各担当の役員が出来る事を担うことが可能となり、偏りがあった業務の負担軽減が行われた。

【ICTの活用により可能となった取組】

- ①組織全体の業務と担当者別の業務確認
- ②活動情報の発信
- ③業務の日時と場所を確認できるカレンダー機能およびマップ機能
- ④活動の参加・不参加の意思表示確認
- ⑤活動記録の公開

WEBカメラを設置し、高齢者のみならず、通学等の子どもたちを見守ることができるようにした。

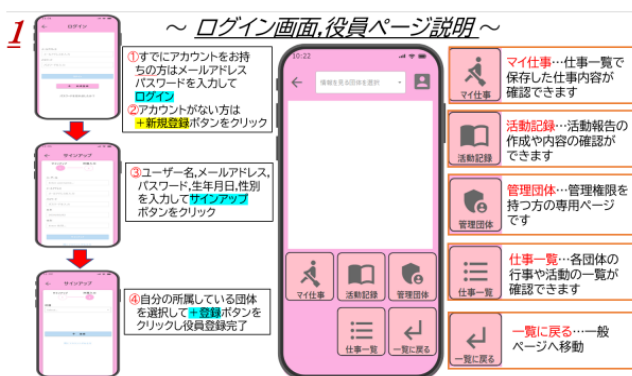
ワークショップを行い、操作や利用に関するフィードバックを行い操作に関するマニュアルを作成した。

今後の取組

○地域コミュニティ情報の積極的な発信、共有化を図ることで、多くの住民への校区コミュニティ協議会の活動や取組みの周知が図られ、参画者の増加が見込まれる。そして、参画した方々によりICTを活用した情報が発信されることにより、更なる参画者の増加へ繋がることが期待される。

○ICTを活用することにより、情報の一方的な発信だけではなく、高齢者の見守りや地域の困りごとなどの共有が図られ、より迅速な地域課題解決に向けた取組みの展開も期待される。

○役員の業務や役割の可視化することにより、増加した活動への参画者へその役割を分担することで、担い手の負担軽減が図られ、また担い手の育成につながることも期待される。



協働事業の感想

団体からの声

コミュニティ活動の負担軽減や担い手不足問題に対し、これらの活動の可視化や共有化は、とても効果的であることが分かった。今後、ICT化に向けた取組は、地域のニーズを正確に把握し、進めていく。

県担当課からの声

業務の可視化・共有化により役員の負担軽減につながった。今後、多様な担い手の参画とともに、他地域・市町村等へ展開が図られることを期待している。

市町村担当課からの声

役員の負担軽減の仕組みづくりや事業への参画者の増加を図るための取組み提案により、より現実的なシステム構築が図られたと感じた。今後、さらにシステムを発展させ、より多くの住民が参画していくことを期待している。

地域コミュニティからの声

会議や行事の連絡等の役員負担軽減を模索していたところ、今回の協働事業により展望が開けたように感じた。今後、一層の地域活性化へ向けた取り組みを展開していきたい。